



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

## 理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

### 基本方針

<b>患者中心の医療</b> 患者の人権と意思を尊重します	<b>診療3本柱</b> がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります	<b>完結型医療</b> 地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います	<b>地域包括ケア</b> 地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します	<b>社会貢献</b> 災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います	<b>医療人育成</b> 地域医療に貢献できる医療人の育成を行います
----------------------------------	--	--	---	---	---------------------------------------

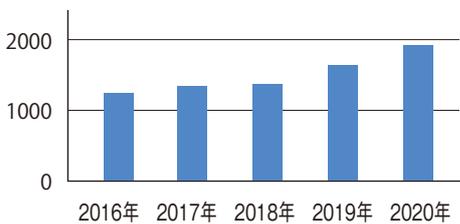
## 認知症ケアチーム活動 院内から地域へ発信

当院は、2011年11月より認知症ケアチームを立ち上げ、10年以上が経ちます。これまで多職種で認知症ケアに対して活動を行っております。今後も引き続き院内はもちろんのこと、地域全体で認知症の方やその家族が支えられるよう、地域住民や地域の関係機関に向けて様々な情報を発信していきます。

### 認知症ケア介入年々増加

2016年9月から認知症ケア加算1を取得し、算定患者数は、年々増加の傾向にあります。(グラフ1)入院後、安静制限による身体機能低下・環境変化による生活リズム障害・せん妄発症・認知症進行・廃用進行等、入院により新たに生じる変化に順応できず、BPSD(認知症の周辺症状、行動障害、対処困難行動)が発現することがあります。院内病棟ラウンドを毎週定期的で開催、薬剤調整や対応方法などを提案。毎年全職員向けに研修会の開催、認知症ケアコアメンバーの教育にも積極的に実施。

(グラフ1) 認知症ケア加算1算定開始後の介入(活動)状況  
算定患者数の推移(延べ人数)



### 地域にむけて発信

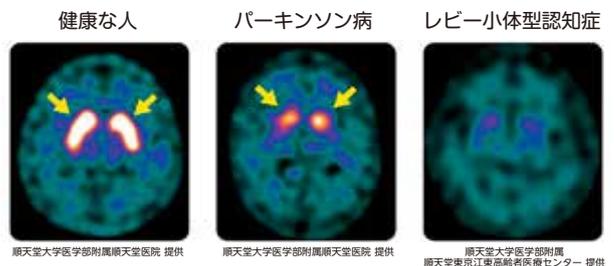
認知症チーム介入後は、退院サマリー等にて転院・退院の際に関係機関と情報共有を実施しています。今後は、くまもとメディカルネットワーク(KMN)を用いて医療・介護・福祉の関係機関とネットワークで繋がり、地域全体での支援が提供できるよう努めていきます。また、地域の皆様とともに、認知症について正しく学び、理解を深めて、早期の予防・対応にお役立ちいただけるように、また、地域住民の方が、安心して暮らせる地域づくりに貢献できるように「認知症ケア出前講座(仮称)」を開催も計画していきたいと思ひます。

### 鑑別診断の必要性

認知症ケアチーム介入対象者のうち、認知症の鑑別診断のない人が過半数を占めます。認知症の早期発見・鑑別診断のメリットとして、認知症用薬の早期からの導入により進行を遅らせ、進行状況に応じた鑑別診断別のケアや対応方法の指導が行えることが出来ます。また、診断により介護認定を受けやすくなる等も考えられます。当院では認知症の診断に有用な核医学検査(脳血流SPECTシンチグラフィ、ドパミントランスポーターシンチグラフィ(ダットスキャン)、MIBG心筋シンチグラフィ)を行っておりますので、ぜひご活用下さい。医療機関からの検査予約を随時受け賜っております。



JCHO 人吉医療センター  
(当院での認知症診断に有用な核医学検査のご案内)



認知症ケア出前講座の様子

## 『診療報酬改定からみる医療政策の動向』

日本血液製剤機構 谷澤 正明先生より講演

8月25日(木) 当院3階講堂において、一般社団法人 日本血液製剤機構 事業戦略部 谷澤 正明 先生をお招きし、『診療報酬改定からみる地域医療連携評価の方向性～R06介護報酬改定+デジタル改定を見据えて～』をテーマとしてご講演いただきました。

今回は折角の機会ということで院内職員だけでなく、地域の先生方にもお声かけさせていただき、Webにて参加をいただきました。

谷澤先生は、全国各地の大学や公的医療機関等で多数講演されており、豊富な知識と分析力で、今年の診療報酬改定を受けての着眼点、次回改定に向けて今から取り組むべき事案について、当院を例としてわかりやすく説明されました。DPCの各指標(数値)を元に、今のところ当院が効率性、複雑性共にバランスが良く、高い係数が維持できていると評価していただきました。

今回改定の焦点は、『感染症・機能分化』、『働き方改革』であり、感染症にも対応できる強い医療体制の構築、タスクシフト等を通じた負担軽減を推進するための点数(感染対策向上加算や急性期充実体制加算等)が新設されました。これは令和6年介護報酬同時改定に向けた布石でもあり、その取り組みが第8次医療計画に色濃く反映されることが予想されるということです。

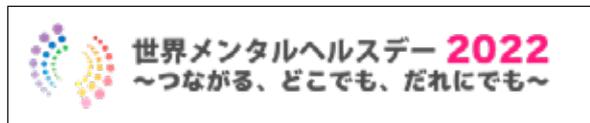
また、2020年国勢調査と2022年住民基本台帳との人口比較において、熊本県では人吉が3万人割れ目前であることはもとより、政令指定都市である熊本市でさえとうとう減少傾向となっていることを踏まえ、医療機関同士の連携や役割分担の重要性について話されました。今後地域医療構想調整会議を通じての議論がますます重要となりそうです。

医事課長 中川 貴夫

## 『こころの健康を維持するコツ』をつかみましょう

～新型コロナウイルスに関連したストレスによって心身の不調が表れていませんか?～

10月10日は、世界メンタルヘルスデーです。メンタルヘルス問題に関する世間の意識を高め、偏見をなくし、正しい知識を普及することを目的として、世界精神保健連盟が定めました。日本でも、厚生労働省による取り組みやイベントが開催されています。



【世界メンタルヘルスデー JAPAN 2022 特設サイト】

コロナ禍に伴い、「コロナうつ」、「コロナ疲れ」という言葉もメディアで見聞しますが、これらは医学的に明確に定義されたものではありません。しかし、自粛生活や感染への不安などから、新型コロナウイルスに関連したストレスによって心身に不調が現れることもあります。ここで、こころ穏やかに過ごすために役立つメカニズムのひとつに「体内時計」と呼ばれるものがありますが、これを整えることで気持ちを穏やかに保つことができる、とも言われています。『こころの健康を維持するコツ』をご紹介します。日々の生活に取り入れてみてはいかがでしょうか。

### 【日常生活を規則的に送るための自己管理術】

- ・ 自宅待機や在宅勤務であっても、自分自身で毎日決まて行う日課を設定しましょう。
- ・ 毎日、一定時間を屋外で過ごすようにしましょう(3密の状況を避け、一人でいられる場所で)。
- ・ 人との交流は、たとえ社会的距離確保の期間中であっても大切です。
- ・ 日中の昼寝(特に、午後遅くの昼寝)は避けましょう。
- ・ 夜間に明るい光(特にブルーライト)を浴びるのは避けましょう。
- ・ 自分自身に合った、起床と就寝の時間を決め、一貫してその睡眠リズムを保つようにしましょう。

【「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的大流行下における、こころの健康維持のコツ」より、一部抜粋】



公認心理士 鶴田 真奈美

## もしもコロナにかかったら・・・～療養生活ってどんなもの?～



現在もなお、新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。教育現場や職場などでも多発しており、いづれどこで誰がかかってもおかしくない状況です。自分がかかった、家族がかかったということも少なくありません。そんな時に備えて、慌てずに療養生活を送ればと 自宅療養された方の話を交え、お示しします。

某日	家族が発熱 →かかりつけでコロナ抗原陽性
翌日(0日目) 自宅療養開始	喉の痛み →かかりつけ医でコロナ抗原陽性 夜:寒気・筋肉痛・発熱 38℃台
翌々日(1日目)	解熱、風邪症状、倦怠感、頭痛あり (処方された症状緩和の薬を服用)
2日目～9日目	嗅覚障害あり 動けるときに動く。人がいないのを確認し、庭先で気分転換
10日目 自宅療養終了 ※ R4.9.7 から7日に短縮(*)	保健所からの連絡もしくはショートメールで症状の確認あり、終了。期間終了後の検査はしない。その後も継続して健康観察(発熱)や感染対策を行う。現在も嗅覚障害残る
※症状悪化した場合、保健所もしくはかかりつけ、救急の場合は119へ(陽性者であること伝える)	

発生医療機関から保健所へ発生届提出。  
軽症の場合は、自宅療養  
(自宅療養が難しければ保健所にて調整)  
療養生活についての資料を渡される

### ①熊本県電子申請



：熊本県療養支援センターより現在の状態(症状、熱等)確認ショートメールあり、毎日報告する。

### ②「MyHER-SYSの登録」



(保健所よりIDがくるので登録)  
：現在の状態(症状、熱等)を入力できる。

期間当初は熱や倦怠感、キツさもあるのでレトルトや簡単に作れるもの、手軽に食べられるもの、水分があるといいとのことでした。

※2022年9月26日より新型コロナウイルス感染症に係る全数届出の見直しに伴いフォローアップ体制が変更されております。  
詳しくは熊本県ホームページ「新型コロナウイルス感染症の陽性となった方へ」(下QRコード参照)をご覧ください。

※症状については個人個人で異なります。

※同居家族の感染対策：マスク着用、共用部分の消毒

### 【参考資料】

- ・症状有の場合、症状なく簡易検査で陽性であった場合はかかりつけ医もしくは近隣医療機関へ
- ※熊本県内で検査・診療を行っている医療機関  
<https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/attachment/192090.pdf> (自院患者のみ)  
<https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/attachment/192089.pdf> (かかりつけがない方)
- ・熊本県自宅療養のしおり <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/30/124778.html>
- ・陽性者や濃厚接触者の療養期間(\*) <https://www.mhlw.go.jp/content/000928216.pdf>



医療福祉連携室 宮原 由佳

## 9月はがん征圧月間です

今や2人に1人ががんになる時代です。「がん」は他人事ではなく、身近な病気です。

9月は公益財団法人日本対がん協会が定めた「がん征圧月間」となっており、がんとその予防について、正しい知識や早期発見・早期治療の大切さを広める活動が全国的に行われています。この機会に家族や大切な人と一緒にがんについて考えてみましょう。

当センターでは、事業所健診・住民健診と併せて各種がん検診、さらにPET-CT検診にてがんの早期発見を目指した健康診断を取組んでいます。

区分	検査項目	料金(税込み)円
呼吸器の検査	胸部レントゲン検査	3,300
	胸部CT検査(人間ドックのみ)	9,900
消化器の検査	胃X線検査	9,900
	胃内視鏡検査	15,400
	ピロリ菌抗体検査	2,750
	便潜血免疫反応検査(2日法)	1,650
乳腺の検査	乳腺および甲状腺超音波検査	3,300
	マンモグラフィ1方向+乳腺超音波検査	5,500
	マンモグラフィ2方向+乳腺超音波検査	7,700
婦人科の検査	内診・子宮頸部細胞診および経膈超音波検査	5,500
前立腺の検査	PSA検査	1,980
その他の検査	PET-CT検査	99,000

上記料金表は、住民健診・住民健診等併せて健康診断を実施した場合の金額となりますので、お申込みおよび詳細については予防医療センターまでお電話ください。

お問い合わせ JCHO 人吉医療センター 予防医療センター TEL 0966-22-7070

シリーズ  
在宅医療

## 在宅で薬のことに困っていませんか？ 薬剤師がご自宅へお伺いできます！

当院（球磨地域在宅医療サポートセンター）では、選択肢のひとつである『在宅医療』を希望される方が、住み慣れた場所で安心して療養が受けられるように、地域の在宅医療の情報を発信し、在宅医療の普及・啓発に取り組んでいます。

今回は、高階誠心堂薬局いずみだ店 薬剤師 山本 哲士先生に在宅での薬剤師の取組みについてお話をうかがいました。

- ・薬の飲み忘れがたくさんあるけど。この薬どうしたらいいの？
- ・この薬、部屋に置いていいのかな。それとも冷蔵庫がいいのかな？
- ・飲むのが辛くて・・・何か方法はないのか
- ・薬のことで、不安があるの。聞きたいことがあるんだけど・・・



こういった相談は、薬局の店頭ではよくある話です。しかし、在宅では「お薬の悩みを相談しにくい」という声をお聞きます。「忙しそうで医師や看護師さんにはなかなか相談できなかった」と遠慮されたり、治療に気がいつて聞くのを忘れてたり。私たち薬剤師が訪問して「やっと相談できた」と喜ばれる声を最近多くいただいております。

在宅医療はあなたの家で病院の役割を果たすので、医師・歯科医師・看護師・栄養士・療法士・ヘルパーなどの多職種と手を組んで一緒に一丸となって治療・ケアにあたります。ご本人・ご家族が満足のいく治療やケアを受けるため、お薬のことは専門家である薬剤師に任せてみませんか。

### お薬の説明及び管理を行うサービス「在宅訪問薬剤管理指導」

（具体的な取り組み）

- ・正しい飲み方や薬の効果を説明します。
- ・副作用や飲み合わせを確認します。
- ・飲みにくい薬があれば、他の薬へ変更するなどを検討します。
- ・飲み忘れ・飲み間違いが多い場合、対処と対策をご本人・ご家族がやりやすいように一緒に考えます
- ・医療用麻薬を適正に取り扱います



薬剤師 在宅訪問時の様子

まずは、在宅訪問薬剤管理指導がどういったものか、お気軽にかかりつけ薬局へご相談下さい。

高階誠心堂薬局いずみだ店 薬剤師 山本 哲士（TEL：0966-24-8370）

球磨地域在宅医療サポートセンター（人吉医療センター）（医療福祉連携室 TEL：0966-22-2191）

在宅医療  
連携施設探訪

## 訪問看護ステーション楽日和

当院では、みなさんが住み慣れた地域で安心して生活していただけるよう、人吉・球磨地域の医療・介護機関と連携して地域包括ケアを推進していきたいと考えています。そこで、地域の社会資源を周知していただくため、連携施設や事業所をご紹介します。今回は、「訪問看護ステーション楽日和」さんです。

### 【事業所の特色】

患者さんと家族さんの「最後は自宅で」の希望を叶えるため、在宅看取りや終末期医療に対応しております。

ひとよし在宅支援診療所や調剤薬局など地域の関係機関と連携し支援にあたっています。定期的な Web カンファレンスにも参加し、多職種との情報共有を行い、それぞれの得意分野の意見を交わし、ケアの質向上につなげていけるよう努めております。

### 【地域の皆様に一言】

療養者とご家族の思いを尊重し、ご希望に沿った看護を提供いたします。

### 【事業所概要・お問い合わせ先】

訪問看護ステーション楽日和

住所：〒868-0021 熊本県人吉市鬼木町 1529 番地 23

営業日・営業時間 月～土

休業日 日曜 年末年始 12月31日～1月3日（状況に応じて対応します）

TEL / FAX 0966-26-4155 / 0966-26-4156

Eメール rakubiyori@comfysense.com



（訪問看護ステーション楽日和 事務所）

### 【サービス内容】

体制	24時間対応体制	可
	訪問リハビリテーション	不可
	看取りの看護	可
	小児の訪問看護	不可
	緊急時訪問	可
	精神科訪問看護	可
	人工呼吸器装置者の看護	可

## 地域に根付いた病院を目指して

10月8日はJCHO人吉医療センター 開院記念日

10月8日は当院の開院記念日になります。西南戦争の翌年の明治11年(1878年)10月8日に当院の前身である公立人吉病院として開院し、今年で144年となります。

その歴史は古く、人吉市史や球磨郡史によると相良藩出身の西道庵(初代病院長)が幕末に江戸、佐倉、長崎で西洋医学を学んだ後、明治6年に帰郷し、診療所兼医療塾を開業した後に篤志家の出資をもとに人吉協議病院(私立人吉病院)を明治7年に人吉市新町へ開院したところから始まります。その後、私立人吉病院が西南戦争で消失したため、地域住民の寄付により明治11年10月8日に設立されたといわれています。(※詳しくは、当院ホームページ 病院紹介(開設当初より現在に至るまで概況)をご覧ください。) この設立の経緯をみても住民の熱意や協力によって築かれた地域に密着した病院であったことが分かります。また、明治29年には「第1郡立病院」と名称を変え、多良木村字上ノ野に球磨郡第2郡立病院(現 球磨郡公立多良木病院)、一勝地に支院を広げ地域医療が発展した経緯もうかがえます。その後、当院は「健康保険人吉総合病院」[JCHO人吉医療センター]と名称を変え現在に至ります。

これまで先人たちが築いてきたこの歴史あるこの病院で、仕事ができることを誇りに思い、人吉球磨地域のみならず鹿児島県、宮崎県との南九州3県県境地域の拠点病院として、今後も地域に根付いた信頼される病院を目指して日々研鑽を積んでいきたい思います。



## 皆さんご存知ですか？

～老神神社(おいかみじんじや)にある“人吉公立病院”の石碑～

JCHO 人吉医療センターの北側、徒歩1分のところに老神神社があります。老神神社は、江戸時代初期に相良長毎によって造られたもので、建築様式や小壁などの彫刻は桃山時代風の手法をよく残してあります。境内には、神池と四社の境内社(菅原神社・学問の神、弁財天社・芸能の神。稲荷神社・商売の神、淡島神社・健康の神)が祀られています。地域住民からは「老神さん」と呼ばれ、広く親しまれており、今では、国の重要文化財に指定されています。



また、当院からも近いため、近所の方に伺うと、当院を通院中の方や入院中の患者家族さんがよくお参りに来られるとのこと。



本殿正面の鳥居を入ってすぐそばに地域の方々から寄進したことが記された石碑があります。そのうちの一つに当院の前身である“人吉公立病院”の名前もあります。古くからこの地で住民の方に親しまれた神社であることが分かり、当院もその歴史とともにこの地で医療を提供してきたと思われます。当院もまた歴史ある病院でもあり、まだまだ分かっていない事も多くあります。特に公立人吉病院という名称については、公には「公立人吉病院」と記されていますが、石碑には「人吉公立病院」と記してあり、地域住民ではその名称で言われていたようで、その真相ははっきりとしていません。もしご存知の方がいらっしゃれば、是非当院へご一報をください。



JCHO 人吉医療センター ホームページ 病院紹介  
(開設当初より現在に至るまで概況)

## 職 場 体 験

当院では人吉球磨地域の学生さんの職場体験を受け入れています。今回のインターンシップに参加した人吉高校の生徒さんから、感想を頂きましたので一部ご紹介させていただきます。

私は、2日間体験してみて、改めて、医療に関わっている方々はすごいと思いました。

初めて患者さんの命と隣合わせで働いていらっしゃる現場を見て、私も人を助けられるようになりたい、看護師になりたいと思いました。

どの部署に行っても患者さんを、思いやることが第一でそれぞれが連携し合って成り立っているということが分かりました。なかなか体験できない貴重な現場を見ることができて本当に良かったです。将来の為に頑張ります。



人吉高校 2年

私は将来医療関係の仕事に就きたいと思っていますが、具体的には考えておらず、自分が医療関係のどんな仕事に就きたいのかわかりませんでした。しかし、今回のインターンシップで人吉医療センター内の各部署の話を聞いたり、見学をして、医療関係の仕事には様々な種類のあるということを知りました。今回、見学をして、検査技師の仕事を詳しく知ることができ、もっと興味をもつことができました。2日間、ありがとうございました。

人吉高校 2年

## 一定以上の所得のある方(75歳以上の方等)の医療費の窓口負担割合が変わります

当院受診の際は、保険証のご提示をお願い致します

令和4年10月1日から、一定以上の所得のある方(75歳以上の方等)は、現役並み所得者(窓口負担割合3割)を除き、医療費負担窓口割合が2割になります。

新しく届く保険証をご確認の上、当院受診の際は、保険証のご提示をお願い致します。

※後期高齢者の医療費の窓口負担割合の見直しについての詳細は以下をご参照下さい。

厚生労働省ホームページ

後期高齢者等の窓口負担割合の変更等  
(令和3年法律改正について)



## 人吉の夜空を彩る 第67回人吉花火大会

8月15日夜、第67回人吉花火大会が開催されました。当院からもほど近い人吉市の中川原公園から大輪の花火が打ち上げられ、人吉の夜空を彩りました。当日は、時折、強い雨が降る場面もあり、開催が心配されていましたが、無事開催されました。3年ぶりの有観客だったこともあり、会場近くでは露店がならび、多くの方が行きかえ賑わいをみせていました。また、動画共有サイト「YouTube」でのライブ配信もあり、市内外の多くの方が人吉の花火を目にされたと思います。令和2年7月豪雨災害から2年が経ちますが、人吉球磨の復興はまだ道半ばの状態です。この花火で元氣や勇氣をもらい、一日も早い復興を願っております。

医療福祉連携室 MSW 田頭 隼人



人吉市役所提供

## 電気使用量は昨年と大差ないが、電気料金は約1.3倍！

### 8月のフルネーム患者確認、継続していきましょう。

7月は、各部が、消灯に努めることやペーパーレス化、エレベーターを使うなどの目標を設定し活動しました。結果は、電気の使用状況を見ますと、使用量は昨年同期と大差なし、猛暑続きの中、目標達成といえるのではないのでしょうか。ただし電気料金支払額は、1.3倍、今後も高騰する見込みといわれています。引き続き、節電、省エネ、無駄を無くしていきましょう。

8月は、病院目標である医療の質・安全面から患者確認の月間目標とし取り組みました。診察や検査前、服薬指導や栄養指導前、同意説明前その他あらゆる場面でフルネーム確認月間でした。結果は、概ね、患者確認はできているとの回答を得ています。課題として、深夜帯や不意な業務が発生した際に確認ができなかった、Dr.Ns.によって普段から出来ている人とそうでない人がいて習慣化されていないコメントが届きました。今後も啓蒙していくことが必要です。

9月は、働き方改革の目標です。各部、月間目標達成を目指して参りましょう。



## 九州豪雨災害復興祈念 Tour of 九州 2022 全国ジュニアステージロードレース

高校トップクラスの選手約80名による自転車ロードレース大会が8月21日(日)に行われました。

この大会は、九州で連続して発生した、地震や豪雨災害の復興祈念として九州各県で行われており、8月21日は、午前中に湯前町で約80kmのロードレース後、16時より人吉城周回(1.6km×20周)で競われました。



自転車ロードレース競技について無知であり、好奇心だけで応援へ行きましたが、自転車のスピード、迫力、駆け引きなど短時間の中で繰り広げられるレースに終始目が離せず、色々な光景を見る事ができ大変感動しました。

地域によってはまだまだ復興半ばではありますが、こういう形で九州を盛り上げようと全国各地から来て下さった選手の皆様、また企画運営された関係者の方々に感謝いたします。

## 人吉医療センター災害実動訓練・フェスティバルのご案内

2022年10月16日 8時～ 人吉医療センター災害実動訓練を行います。

当日は、騒音及び正面玄関、本館1、2階を主に使用するため、入院中および来院の皆様大変ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解ご協力の程宜しくお願い致します。

また、訓練後には、当院敷地内において第14回人吉医療センターフェスティバルを開催します。どうぞ皆さままでおいで下さい！



## 新 任 紹 介



黒木 佳穂里(看護師)

趣味：本屋巡り、ライブ鑑賞

好きな言葉：言葉遣いは無料でできるオシャレ

自分の性格：おおざっぱ

自分のコマーシャル：初めて地元で働きます。緊張の連続になると思いますが、前職での経験を少しでも活かせるように頑張ります。



黒木 琴江(療養介助員)

趣味：旅行好きでパッキングは早いです

モットー：一期一会、小さなことでも感謝を忘れない

自分の性格：好奇心旺盛、ポジティブ

自分のコマーシャル：わからないことだらけで不安ですが、よろしくお願いします

